











































- 4 中国人民銀行による預金準備率の0.5ポイント引き下げ（2020年1月6日）など。  
これにより、市場に8,000億元（約12兆円）以上の長期資金が放出できるとしている。
- 5 例えば、2019年には、2兆元（約30兆円）の減税コスト削減を実施し、その効果はGDPを0.8ポイント押し上げてと報道されている（人民網 2020年1月8日）。
- 6 2020年1月7日の中国国家統計局の発表によれば、2019年の中国のGDP成長率は6.1%。
- 7 今はBRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）の表記が一般的であるが、ここでは、IMFとPWC発表の上位10傑に入っていない南アフリカを除いたBRICsを採用した。
- 8 すでに、120余か国（ASEAN、アフリカ連合＜AU＞などの地域組織との構築もあり、そのメンバー国をカウントすると180余か国）と伙伴关系構築済。伙伴关系の最大の特徴は、拘束力のある条約や協定でなく、両国の元首（首脳）による共同声明をもって構築される点にある。共同声明によって構築される伙伴关系は、随時見直しができるといった融通性があり、経済発展水準や価値観を異にする国・地域とコンセンサスを共有するための中国の智慧といえる。また、“同盟せずパートナーとなる”が伙伴关系の原則。伙伴关系の詳細については、本誌NO.105（2016年秋号 中国外交の要となった「一帯一路」構想の推進と「伙伴关系」の構築）を参照。
- 9 習主席の来日で「第5の文書」が発表されるかどうかに関心が高まっているが、発表があった場合、その「第5の文書」で伙伴关系がどう言及されるかなどが注目点。